

事業所名

児童発達支援センター いちご

支援プログラム 放課後等デイサービス

作成日

令和7年

4月

1日

法人（事業所）理念	1. 利用者の人権を尊重し、地域に開かれた利用者中心の施設づくりを目指します。 2. 利用者の個々の希望や個性を伸ばす支援やサービスを提供します。 3. 新たな福祉ニーズに先駆的に対応し、地域福祉の拠点としての役割を担います							
支援方針	安全や安心が保障された中で、お子さんが「自分らしく」過ごせるための方法を学んだり、やりたいことを一緒に見つけていながら実現をサポートしていきます。必要な環境づくりをご家庭、学校、他事業所などと連携しながら、チームとして支援していきます。							
営業時間	9時	00分	17時	00分	送迎実施の有無	あり	なし	(送迎可能地域かどうか個別にご相談ください)
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 安全で衛生的な環境を整えていくとともに、生活リズムの安定や信頼関係の構築を図り、環境の変化への自分なりの馴染み方を学んでいきます。 自分達で衣服の調整や身だしなみを整えていく方法を学んでいき、居心地よく過ごせる術を学んでいきます。 時間や空間の構造化を行いながら、集団生活のルールを分かりやすく明確に伝えていき、善悪の区別や社会のルールを学んでいきます。 体調の変化や学校行事、授業内容等での疲れや負担を考慮し、静と動の活動バランスを意識していきます。 医療的なケアが必要なお子さまには医師からの指示書のもと、看護師を中心とした必要なケアを行っていきます。 それぞれの意思表示を理解するため、小さなサインにも気付いていけるように日々の観察や関わりを大切にしていきます。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 作業療法士の評価のもとに、姿勢や運動・動作の向上が図れる遊びや活動を提供していきます。（体力の向上・眼と身体の協力的な動作・力加減など） リズム遊びや椅子取りゲームなどを通して身体のコントロールを楽しみながら学べるようにしていきます。 感覚の特性に配慮した環境設定の支援や、スモールステップで許容範囲を広げ、生活の広がりを目指します。 医師の指示や作業療法士の評価のもとに筋肉の硬直や側弯を予防し、安楽な姿勢が保てるようにしていきます。 日々関わる看護師や支援者により、お子さまの体調に合わせて参加プログラムの調整ができるようにしていきます。 必要に応じて作業療法士による個別療育を行います。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 季節にあった行事や活動を取り入れていくことで、季節や時間の流れを感じとれるよう、年間を通して環境を整えていきます。 物事の原因と結果をその都度分かりやすく伝えていき、物事の事象を習得しやすくなるよう働きかけていきます。 遊びや生活の中で物・数、色などの身近な生活概念の形成ができるよう、繰り返し働きかけていきます。それを認知・行動の手がかりとしながら、見通しを持って安心して様々なことに挑戦できる経験を積んでいきます。 物や空間、時間等の概念の形成を図り、認知や行動の手がかりとして活動できるよう支援します。 						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> お友達や支援者と集団で過ごす中で、言語聴覚士を中心に他者とのやり取りが深められるように働きかけていきます。 言葉や指差し以外にもジェスチャーや絵カード・マカトンサインなどの視覚的ツールを用いて共通認識の事柄を増やしていきます。また、本人の要求や気持ちに、丁寧に言葉やジェスチャーを添えながら言葉との一致を図ります。伝える、伝わる経験を増やし、他者との関わりが楽しめるように働きかけます。 他者と気持ちの共有を図ったり、目に見えない気持ちや過去の出来事を言葉で伝える練習をしていきます。 表情や四肢の動き、心拍など、非言語での表現を尊重しながら、気持ちに寄り添った支援を行います。 必要に応じて言語聴覚士による個別療育を行い、コミュニケーションに必要な力を育てます。 						
人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活のやりとりの中で愛着形成、信頼関係を作っていきます。様々な学校や学年の友達と一緒に過ごす中で、お互いに助け合ったり気付きや学びを得る機会を作っていくことで、人と触れ合う心地よさや一緒に過ごす安心感が得られるよう、環境を整えていきます。 遊びや物のやり取りを通して他者と関わる機会を意図的に設け、他者への興味が高まるよう働きかけていきます。 必要に応じて、支援者を介しながら他児と関わる活動に参加し、その場や気持ちの共有を図ったり一緒に過ごす楽しさを感じられるよう環境を整えていきます。 対人面でのやり取りを楽しみ、支援者が仲介しながら他者との距離感ややり取りの仕方をモデル提示していき、習得しやすいうように働きかけていきます。 どんな時にどんな気持ちになってしまうのか、自分の傾向を知り、他者との折り合いのつけ方や自己コントロールの仕方を一緒に学んでいきます。 係や当番活動を通して、社会的役割を担う練習をしていくことで、責任感や協調性を深められるようにしていきます。 							
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 個々の家庭状況に合わせてながら、必要時には個別相談も受けつつ、ライフステージに合った支援や今後の見通しを共有していきます。 ペアレントトレーニングやペアレントプログラムなど、各種勉強会も実施していきます。 お子さんを取り巻く環境として、円滑な家族関係を構築していけるよう、育児負担の軽減やきょうだい支援を意識した関わりを行っていきます。 保護者の集まり等を開催し、家族同士のつながりの場を設けていきます。直接保護者のニーズや期待、希望を把握し、今後の施設運営に活かせるように努力していきます。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 地域社会でのインクルージョンが円滑に進むよう、開かれた施設作りをするとともに、地域の施設との連携を図りながら社会での理解や受容にも並行して働きかけていきます。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 高根沢町を中心に学校や学童、他事業所などと連携を図り、統一した支援ができるようにしていきます。 外部からの見学や相談を随時受け入れることで、地域に開かれた施設を目指していきます。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 施設内での勉強会、研修を行い、共通理解の中で支援を進められるようにしていきます。 外部での各種研修や勉強会にも参加し、専門性を高めることで子供の支援やサポートができるようにしていきます。 		
主な行事等	お正月・節分・ひなまつり・いちご狩り・子どもの日・母の日・父の日・七夕・夏祭り・プール遊び・敬老の日・ハロウィン・クリスマス会・野外活動（公園、季節に応じたレク活動など）・野菜作り・遠足・お楽しみ会・誕生会・避難訓練・交流保育（保育園・幼稚園）・家族交流会・地域デイサービスセンターとの交流会・勉強会・交通安全指導・内科健診など							